

研究課題名「リンパ節転移陽性肝門部領域胆管癌に対する術後補助化学療法としてのS-1とGemcitabineの比較」に関する情報公開

1. 研究の対象

2006年1月1日から2017年12月31日の期間に名古屋大学附属病院消化器外科1で手術を施行した肝門部領域胆管癌患者のうち、リンパ節転移陽性であり、術後補助療法としてゲムシタビン単剤療法またはS-1単剤療法を受けた133名の方を対象としています。

2. 研究目的・方法・研究期間

リンパ節転移陽性肝門部領域胆管癌は術後の再発率が高いため、治癒率の向上のために術後補助化学療法を確立することが大きな課題です。

本研究では、2006年1月1日から2017年12月31日の期間に名古屋大学附属病院消化器外科1で手術を施行した肝門部領域胆管癌患者のうち、術後補助化学療法としてゲムシタビン単剤療法を受けた67名の方とS-1単剤療法を受けた66名の方を比較し、有効性について検討することが目的です。診療録から患者データを参照し、化学療法の実施状況、再発や予後等のデータを比較することで術後補助化学療法としてゲムシタビン単剤療法とS-1単剤療法の治療効果についての統計学的解析を行い検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、手術内容、術後経過、予後等。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院 腫瘍外科学 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65

研究担当者氏名：名古屋大学大学院 腫瘍外科学消化器外科1 水野 隆史

(電話 052-744-2222、ファックス 052-744-2230)

研究責任者：名古屋大学大学院 腫瘍外科学消化器外科1 水野 隆史

(電話 052-744-2222、ファックス 052-744-2230)